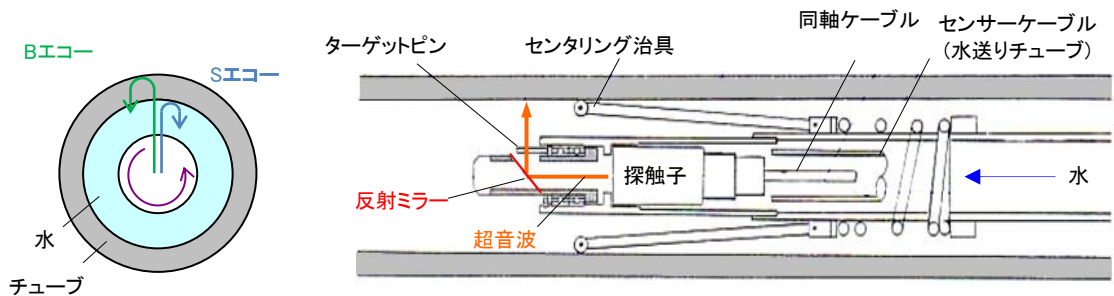


# 超音波内挿回転式チューブ検査 (IRIS9000)



IRIS9000の探傷方法

IRIS9000はボイラ、熱交換器等のチューブ内外面の減肉状況を、精度良く検出できる内挿式回転超音波検査システムです。軸方向に送信される超音波を回転式ミラーによって周方向に反射させ、送受信することでチューブ肉厚をS-B1方式で測定します。ミラーを水圧で高速回転させることで、チューブ全周の探傷が可能となります。

## 特長

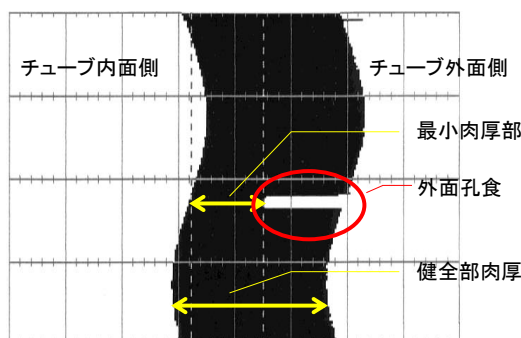
- 直管チューブ全長全周の探傷が可能
- ボイラチューブ曲り部の通過可能



IRIS9000

## 適用

- 検査対象:ボイラ、熱交換器チューブ
- チューブ外径:φ11.2~φ89.1 mm
- 測定肉厚:0.51~10.16 mmまで測定可能
- チューブ長さ:最大25 mまで
- 検出能:平底穴 φ1 mm以上  
(すり鉢状 φ2 mm以上)
- 高精度:±0.08 mm
- 適用曲率:70° の曲率を通過可能



探傷画像(外面孔食の例)



探傷画像(内面孔食の例)